

【事故報告】

事故発生日	平成30年 3月 19日	事故発生時間帯	午前中
子どもの年齢・クラス	2歳 8か月 1才児	子どもの性別	女兒
事故現場	保育室	事故誘因	ロールマットからの転落
診断名	右腕橈尺骨骨折	治療内容	骨折観血的手術 ギブス装着

【事故の要因分析と再発防止改善策】

要因	分析項目		具体的内容
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)	事故予防マニュアルの有無	あり	(具体的内容記載欄) 事故防止マニュアル
	事故予防に関する研修	定期的実施	実施頻度(4)回/年 (具体的内容記載欄) 園内研修で事例検討を実施し職員で共通理解を図る他に、保育士会主催の研修に職員を派遣、報告会
	職員配置	基準配置	(具体的内容記載欄) 園長:1、主任保育士:1、保育士:15、保育補助:1
	その他考えられる要因・分析、特記事項		事故発生報告、ヒヤリ・ハットの検討が生かされていない補助に慣れていない保育士をロールマットに配置していた
	改善策		検討内容の充実と検討回数を多くする 子どもの状態をよく知っている保育士が補助する
ハード面 (施設、設備等)	施設の安全点検	定期的実施	実施頻度(毎日)回/年 (具体的内容記載欄) 各クラス担任が点検表にそって毎日実施
	遊具の安全点検	定期的実施	実施頻度(毎日)回/年 (具体的内容記載欄) 幼児組クラス担任が交代で、点検表にそって週1回実施
	玩具の安全点検	定期的実施	実施頻度(毎日)回/年 (具体的内容記載欄) クラス使用の玩具は、担任が点検表にそって毎日実施
	その他考えられる要因・分析、特記事項		ロールマットの締め方があまかった 保育室の広さに対して遊具数が多かった
	改善策		点検表にロールマットのゆるみがないかのチェック項目を追加し、毎日点検する 運動遊具の設定個所は、余裕をもって遊ぶことができるようスペースを確保する
環境面 (教育・保育の状況等)	教育・保育の状況	集団活動中・見守りあり	いろいろな運動遊びの集団保育活動中
	その他考えられる要因・分析、特記事項		本児が初めてロールマットからのジャンプを一人で行えるようになり、うれしくて何度も挑戦して疲れがあった 年齢的に高さがあり、高度な活動内容であった
	改善策		個々の運動能力を十分に見極め、子どもが少しでも不安だと判断したら、手を添える・低いところからのジャンプをするよう促すなど安全第一の援助をする 子どもの体力の消耗具合など、汗のかきかたや表情などから判断し、活動を打ち切ることも考慮する 低いものから徐々に高くするなど、年齢相応の高さの遊具を使用する
人的面 (担当保育教諭・幼稚園教諭・保育士、保育従事者、職員の状況)	対象児の動き	いつもどおりの様子であった	(具体的内容記載欄) 元気な様子で登園、検温36.7度、鼻水が少し出て、唇の乾燥がみられたが、他に変わった様子はない
	担当職員の動き	対象児の至近で対象児を見ていた	(具体的内容記載欄) ロールマットの隣で落下する瞬間に手を差し伸べたが間に合わなかった
	他の職員の動き	担当者・対象児の動きを見ていた(至近距離にいた)	(具体的内容記載欄) 同保育室の各コーナーで見守りをしていた
	その他考えられる要因・分析、特記事項		保育者が、活動中に見守り場所を交代し、本児の様子を伝えていなかった 30分という活動時間が年齢に対して長かった
	改善策		活動に合わせた援助の仕方を全職員でロールプレーしながら再確認し、共通理解を深める 活動時間が長いと感じたり、疑問に思うことは、他の保育者にも伝わるよう声に出して職員間の連絡を密にとる
その他	その他考えられる要因・分析、特記事項		いつものことという意識がどこかにあり、安全点検時の「かもしれない」の気づきが十分でなかった
	改善策		休み明けの月曜日は、特に事故につながりやすいことを認識して安全点検にあたる 事故防止のスキルアップのために、より具体的に、より子ども目線で、園内研修の実施を強化すると同時に、職員全員の意識改革を図る